

2021 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | |
|---------|-------------|-------------|------|-----------|---------------|
| 学 科 | 看護学科 | 科 目 区 分 | 基礎分野 | 授業の方法 | 講義演習 |
| 科 目 名 | 音楽とリラクゼーション | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 2年 | 学期及び曜時限 | 通年 | 教室名 | 視聴覚室・講堂 |
| 担 当 教 員 | 岡本祥子 | 実務経験とその関連資格 | | | |

《授業科目における学習内容》

音や音楽の成り立ち、人間と音楽との関係について考えていくと共に、音楽が人体へ与える影響についても学んでいく。また、実際に、歌を歌ったり、楽器を演奏したり、鑑賞を行うことにより、そのリラクゼーション効果を体験し、日々の生活のストレスを解消し、心身のより良い成長につなげていきたいと思う。また、音楽の経験を積み重ねることにより、人間の精神活動や芸術文化について理解を深めることができるよう努力していきたいと思う。

《成績評価の方法と基準》

出席並びに課題提出状況で総合的に評価する

《使用教材(教科書)及び参考図書》

基礎から学ぶ音楽療法 編者 古賀幹敏(教科書)

《授業外における学習方法》

テキスト、配布資料にて予習・復習を行う。□

□

□

《履修に当たっての留意点》

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|---------------|-------------|--------------------------|--------------|-------------------|
| 第1回 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 音・音楽について理解する | 教科書 | 授業の予習を行う |
| | 各コマにおける授業予定 | 音・音楽 | | |
| 第2回 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 音楽の歴史について ハンドベルで演奏をする | 教科書 ハンドベル | 授業の予習、復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 古代ギリシャ音楽 ハンドベルの持ち方① | | |
| 第3回 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 音楽の歴史について | 教科書 ハンドベル | 授業の予習、復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 西洋音楽史 ハンドベル② | | |
| 第4回 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 音楽の歴史について | 教科書 ハンドベル | 授業の予習、復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 西洋音楽史 日本音楽史 ハンドベル③ | | |
| 第5回 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 音楽鑑賞によるリラクゼーション効果について | 教科書 AV機器 | 授業の予習、復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 音楽鑑賞について 鑑賞① | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|--------|---|--------------|-------------------|
| 第6回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 音楽の要素について | 教科書 | 授業の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 音列と音階 拍子 多声音楽 音程 十二音音階 | | |
| 第7回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 動きと音楽体験について リトミックを行い音楽に対する興味を広げる | 教科書 | 授業の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 リズムと拍子 楽器演奏 歌 受容的な療法 緊張 リトミック① ボディーカッショング | | |
| 第8回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 小児領域の音楽療法について | 教科書 | 授業の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 基礎知識と障害 リトミック② 世界の音楽のリズム | | |
| 第9回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 成人領域と高齢者領域の音楽療法について | 教科書 | 授業の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 精神医学 高齢者についての基礎知識と音楽療法 | | |
| 第10回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 GIM(音楽によるイメージ誘導法)について | 教科書 AV機器 | 授業の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 GIM(音楽によるイメージ誘導法)について | | |
| 第11回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 いろいろな音楽とリラックス効果について | 教科書 AV機器 | 授業の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 音楽とリラックス 鑑賞② リラクゼーション音楽 | | |
| 第12回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 音楽と社会について | 教科書 | 授業の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 音楽と社会 歌 | | |
| 第13回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 音楽と脳について述べることができる | 教科書 | 授業の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 音楽と脳について | | |
| 第14回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 音楽と感情について | 教科書 ハンドベル | 授業の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 音楽と感情 ハンドベル④ 発表の準備を行う | | |
| 第15回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 ハンドベルの演奏技能を習得し楽しさを味わう | 教科書 ハンドベル | 授業の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 ハンドベル⑤ 演奏を発表する | | |